

別紙様式 1

令和 6 年度仁方中学校区研究推進計画

校番（01）呉市立仁方中学校

校長名 柿林 浩彦

1 学校教育目標

仁方中学校 「自ら学び、心豊かな生徒の育成」
仁方小学校 「自ら学び、心豊かな仁方っ子を育てる」

2 目指す児童生徒像

仁方中学校 「守・破・離」の精神を貫く生徒
～型を基盤に、自分の個性を発揮し、生き方を自己選択・自己決定できる～

仁方小学校 ① にこにこ笑顔で元気にあいさつ・返事をする
② 進んで、学習と生活をつなぎ、最後までやりぬく
③ 高学年を中心に、たすけ合って、主体的に活動する

3 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	規範意識・公德心
後期	発達段階に応じて、児童生徒が基本的な知識や技能を確実に習得し、進級している。	○ひと・もの・ことの中から問題を見出し、解決方法を考え、計画を立てて実行し、最適解を導き、次の問題発見・解決につなげている。 ○精査した情報をもとに、自分の見方・考え方を、相手や目的に応じて、論理的・効果的に伝え合っている。	○習得した知識や技能を活用し、目的意識をもって、積極的に課題を解決しようとしている。 ○よりよい生活や人間関係を自主的に形成し、課題解決に向け、多様な考えを尊重し、互いの良さを生かして協働している。	○規律ある安定した社会の実現に向け、自己の感情や行動を統制し、自分の思考や行動を客観的に把握し、認識し、（社会生活の中で）守るべき正しい姿を大切にしている。
中期		○ひと・もの・ことの中から問題を見出し、解決方法を考え、実行し、試行錯誤して、最適解を導き、次の問題発見・解決につなげている。 ○自分の見方・考え方を、相手や目的に応じて、分かりやすくまとめて表現し、伝え合っている。	○習得した知識や技能を活用し、自ら課題を解決しようとしている。 ○課題のよりよい解決に向け、他者の考えを尊重し、協働している。	○よりよい社会の実現に向け、自己の感情や行動を振り返り、守るべき正しい姿を大切にしている。
前期		○ひと・もの・ことの中から問題を見出し、解決方法を考え、実行し、次の問題発見・解決につなげている。 ○自分の見方・考え方を、相手や目的に応じて、分かりやすく伝え合っている。	○習得した知識や技能を活用し、進んで課題を解決しようとしている。 ○課題解決に向け、他者と協働している。	○約束や社会のきまりの意義を理解しそれらを守ったり、公共物や公共の場所を大切にしたりしている。

4 研究主題等

(1) 研究主題

主体的に学び、思考力・判断力・表現力を身に付けた児童生徒の育成
～生活をよりよくするために、自分の考えを深め、表現する授業づくり～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

○ 本校区は昨年度、問いの解決に向けた“思考を促す発問”を授業に取り入れ、思考した内容を表現することを実践してきた。その結果、根拠をもって表現することができる児童生徒が増えてきた。一方、課題を自分事として捉えることができず、自分の考えを深めることが苦手の児童生徒がいることも分かった。

そこで今年度は、“生活をよりよくするため”の問題や課題を設定し、自分事として考える機会を増やしていくことにした。課題を自分事として考えることで、自分の考えをより深めることができると考えた。

(3) 研究仮説

児童生徒にとって身近な事象や生活場面からの教材開発を行えば、主体的に自分の考えを深め、表現することができるだろう。また、このような授業づくりを行えば児童生徒の思考力・判断力・表現力が高まるだろう。

5 研究内容

(1) 学びの主体性の喚起

- ① 児童生徒にとって身近な事象や生活場面からの教材開発
- ② 生活場面や他教科等との関連を図った課題発見・解決学習の単元開発

(2) 思考力・判断力・表現力を高めるための授業展開

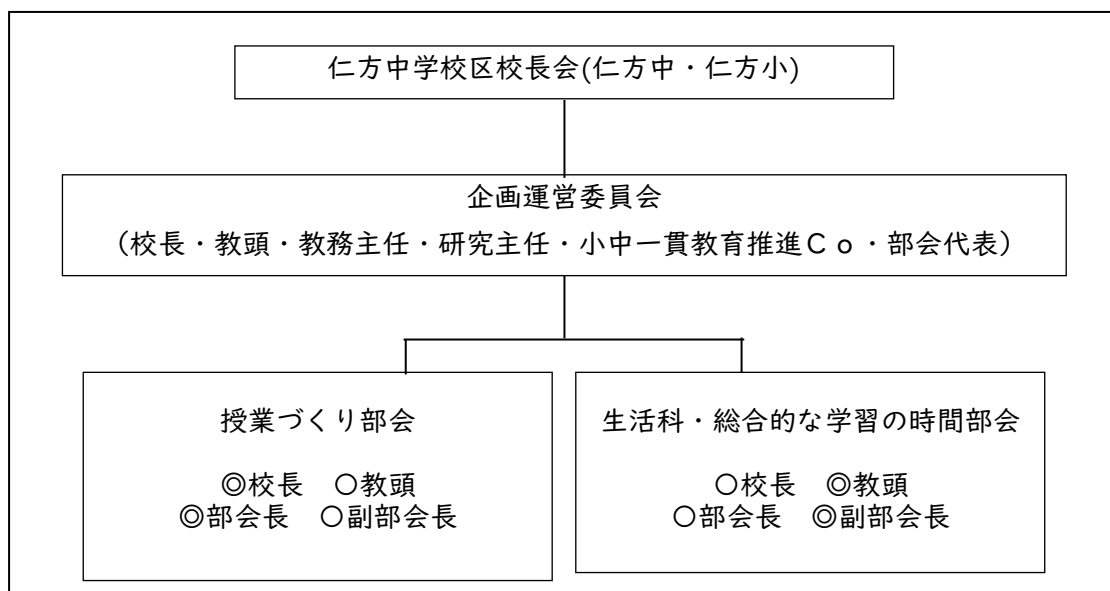
- ① 思考を促す発問の工夫
- ② 多様な表現方法の工夫
- ③ 学びをつなげる振り返り方の工夫

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 主体的な学びを促す授業を創造することができたか。	授業評価表	研究授業における教職員の相互評価値の平均（４段階評価）	小学校3.4	3以上
			中学校3.6	
	教師アンケート	教職員の肯定的評価値の平均（４段階評価）	小学校2.9	
			中学校3.0	
② 児童生徒の思考力・判断力・表現力が向上したか。	学力調査（国語、算数・数学）	４月と１１月の全国平均との差	<小学校> 国語+3.8 算数+0.5 <中学校 １年生> 国語+5.9 数学+8.6 <中学校 ２年生> 国語-1.3 数学-1.7	全国平均との差 小学校+5 中学校+2

7 推進体制等

(1) 推進組織



※◎は幹事校が担当する（R6は◎…小学校、○…中学校）

(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等

（中→小） 2学期：体育科 9月～10月中旬

イ 小学校教科担任制等

第5・6学年（理科）

第3・4・5・6学年（音楽）

(3) 異年齢交流

中学1年生－小学2年生（読み聞かせ）

中学2年生－小学6年生（オープンスクール）

8 推進計画

月 日	内容	
	仁方中学校	仁方小学校
6月11日		ブロック授業研究①
6月27日		ブロック授業研究②
7月	意識調査・学力テストの結果分析、成果と課題（1学期）	意識調査・単元末テストの結果分析、成果と課題（1学期）
8月6日	小中合同研修 推進委員会	
8月	学力補充の取組についての振り返りと改善計画	学力補充の取組についての振り返りと改善計画
9月10日	小中合同研修会（中学校研究授業・研究協議） 推進委員会	
9月	学力調査の結果を受けての改善研修	学力調査の結果を受けての改善研修
10月23日		ブロック授業研究③
10月29日	小中合同研修会（中学校研究授業・研究協議） 推進委員会	
11月7日	小中合同研修（小学校研究授業・研究協議） 推進委員会	
11月12日		ブロック授業研究④
11月13日		ブロック授業研究⑤
11月18日		ブロック授業研究⑥
11月19日	小中合同研修（小学校研究授業・研究協議） 推進委員会	
12月	意識調査・単元末テストの結果分析、成果と課題（2学期）	意識調査・単元末テストの結果分析、成果と課題（2学期）
12月	標準学力調査（年度末）及び次年度の学力調査に向けての検討	標準学力調査（年度末）及び次年度の学力調査に向けての検討
1月29日	小中合同研修（今年度のまとめ・次年度に向けて） 推進委員会	
2月	標準学力調査の結果分析、意識調査・単元末テストの結果、来年度の計画	標準学力調査の結果分析、意識調査・単元末テストの結果、来年度の計画
3月	成果と課題の発表、「研究のあゆみ」作成	成果と課題の発表、「研究のあゆみ」作成

9 その他

- ・小中交流活動
- ・小中一貫だより（年2回 発行予定）
12月中学校小中一貫CO.作成 3月小学校小中一貫CO.作成
- ・研究構想図（別紙）
- ・カリキュラムマップ